

2026 年度

授業概要

科目名		住宅改造論			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	8回	時間数	15時間	(1単位)	配当学年・時期	作業療法士科3年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕									
障がいを持っている人や高齢者の在宅支援の一つに住宅改造・改修、福祉用具の活用があります。本講座では住宅改造の基礎知識をはじめ生活環境調整に関連する知識を理解し、作業療法士として対象者と生活環境の適合を提案するための考え方を学びます。									
〔授業全体の内容の概要〕									
生活環境調整を担える作業療法士として、必要な知識、技術を学びながら、福祉住環境コーディネーター3級の資格取得のための学習を中心に行う予定です。									
〔講師の実務経験〕									
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕									
福祉住環境コーディネーター3級合格レベルを目指します									
回数	講義内容								
1	暮らしやすい生活環境をめざして								
2	健康と自立をめざして								
3	バリアフリーとユニバーサルデザイン								
4	生活を支える様々な福祉用具								
5	住まいの整備のための基本技術								
6	生活行為別にみる安全・安心・快適な住まい①								
7	生活行為別にみる安全・安心・快適な住まい②								
8	安心できる住生活とまちづくり								

【 準備学習・時間外学習 】

--

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
福祉住環境コーディネーター検定試験3級 公式テキスト	東京商工会議所編	中央経済社
福祉住環境コーディネーター検定試験3級 テキスト＆問題集	成田すみれ監修	成美堂出版

【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】

履修規定に準じ、試験の結果を100点満点として60点以上の場合に合格とする